



**STANDARD**

2024年5月9日

各 位

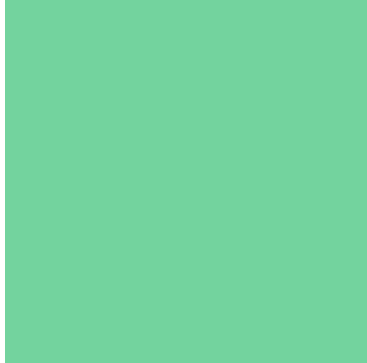
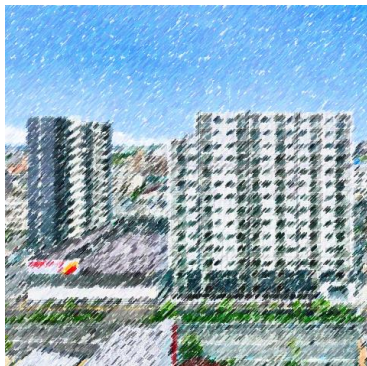
会社名 第一建設工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田 海基夫  
(コード : 1799 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
総合企画本部長 佐藤 勇樹  
電話番号 025-241-8111

### 資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、資本コストと株価を意識した経営の実現に向けて、現状分析と評価を行った上で、企業価値の向上と株主価値の最大化に向けた今後の方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

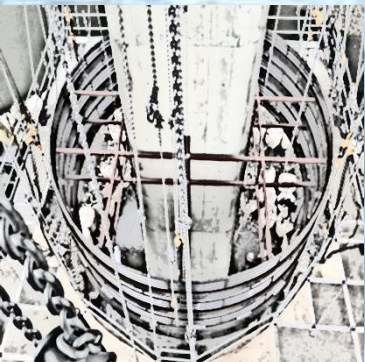
なお、詳細につきましては、添付資料の「資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上



# 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

---



2024年 5月

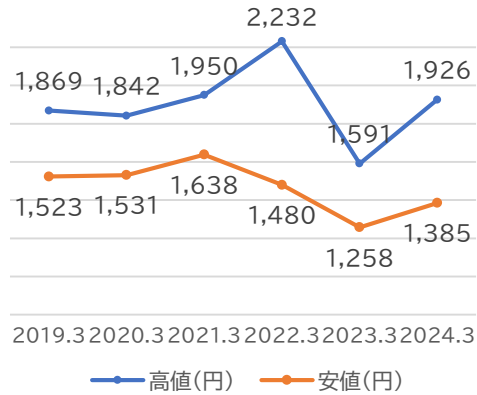


# 現状認識

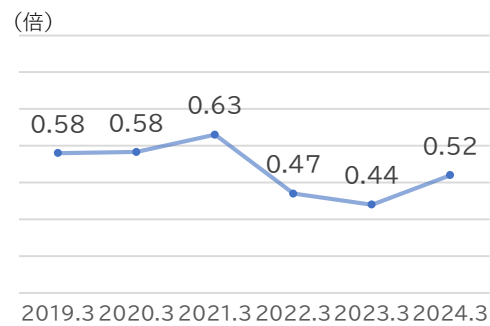
## 分析・評価

- 株価： 1,801円 (2024年3月29日 終値)
- PBR(株価純資産倍率)： 0.52 倍 PBR 1.0 未満であり『割安水準』
- PER(株価収益率)： 12.58 倍 PERは建設業平均(当社調べ)と比較して低い水準で推移
- ROE(自己資本利益率)： 4.1 % ROEは、4.0%程度と低い水準で推移

### 株価

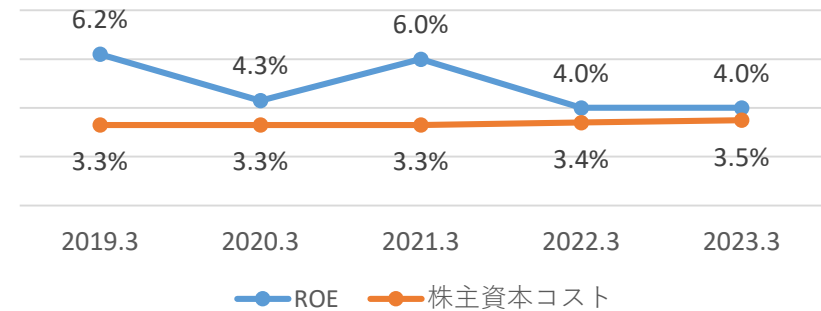


### PBR(株価純資産倍率)

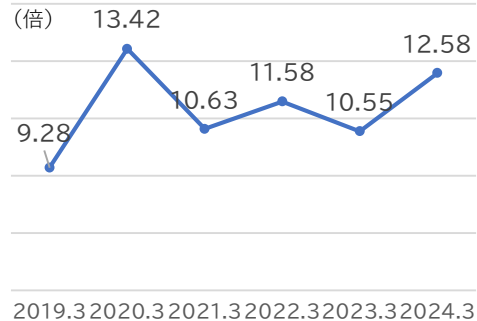


### 株主資本コストとROE

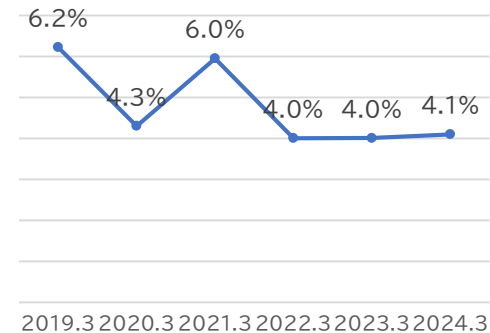
- 株主資本コストは、過去5年平均で3.5~4.0%程度と認識
- 近年は、株主資本コストと同程度のROE(収益率)
- 一般的にPBRが上昇し始めるとされている8.0%に達していない



### PER(株価収益率)



### ROE(自己資本利益率)



### 株主資本コストの算出【CAPM(資本資産評価モデル)】

$$\text{株主資本コスト} = \text{リスクフリーレート} + \beta(\text{感応度}) \times \text{エクイティリスクプレミアム}$$
$$3.5\sim 4.0\% = 0.716\% + 0.511\sim 0.603 \times 5.45\%$$

リスクフリーレート：10年国債利回り

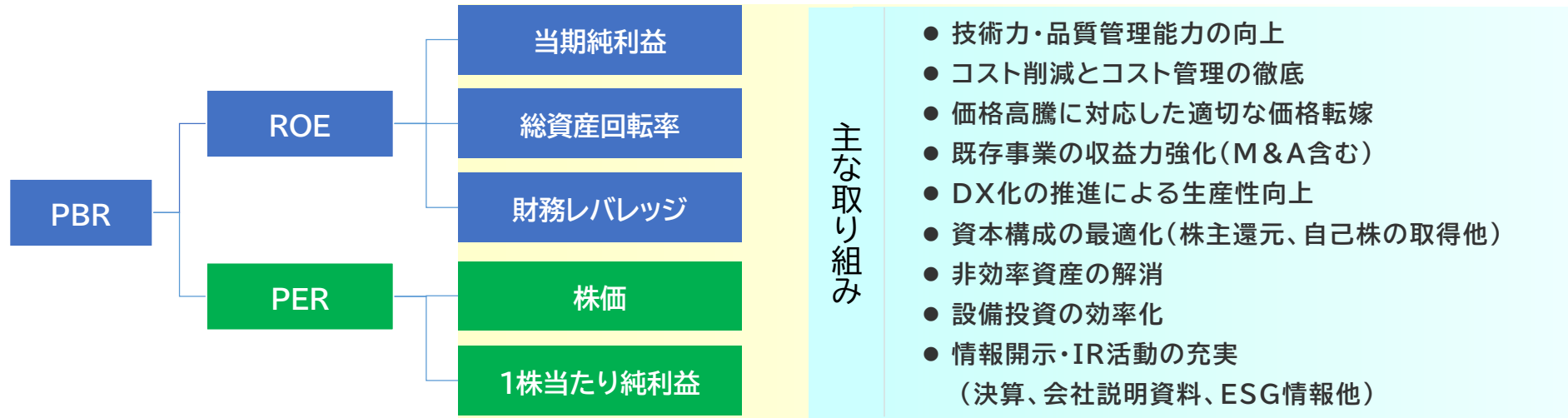
$\beta$ (感応度)：当社株価とTOPIXの過去データ(月次)を用いて算出し、次式で修正(修正 $\beta = 2/3 \times \beta + 1 \times 1/3$ )

※統計誤差および $\beta$ 値の回帰性を考慮して $\beta = 1.0$ に近づけるため修正(修正前 $\beta = 0.266$ )

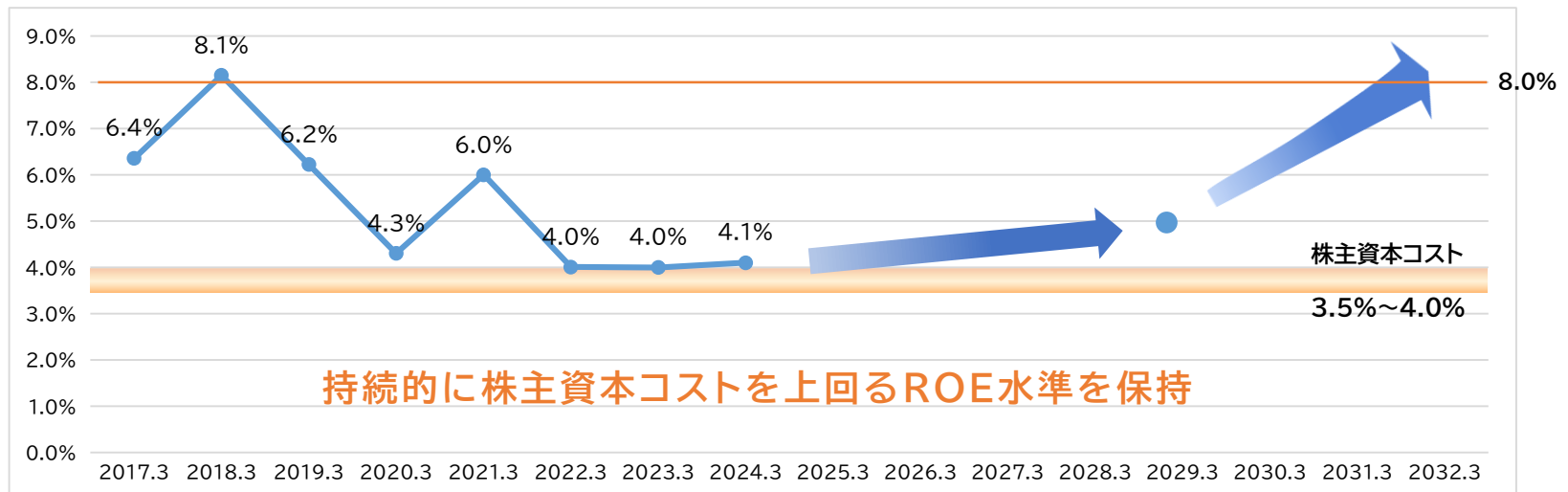
エクイティリスクプレミアム：過去の市場利回り - リスクフリーレート

# PBR向上に向けた主な取り組み

PBRは、分解すると「 $PBR = ROE(\text{自己資本利益率}) \times PER(\text{株価収益率})$ 」となるため、収益率の向上とともに、成長期待度を高めることでROEとPERの向上を図る。



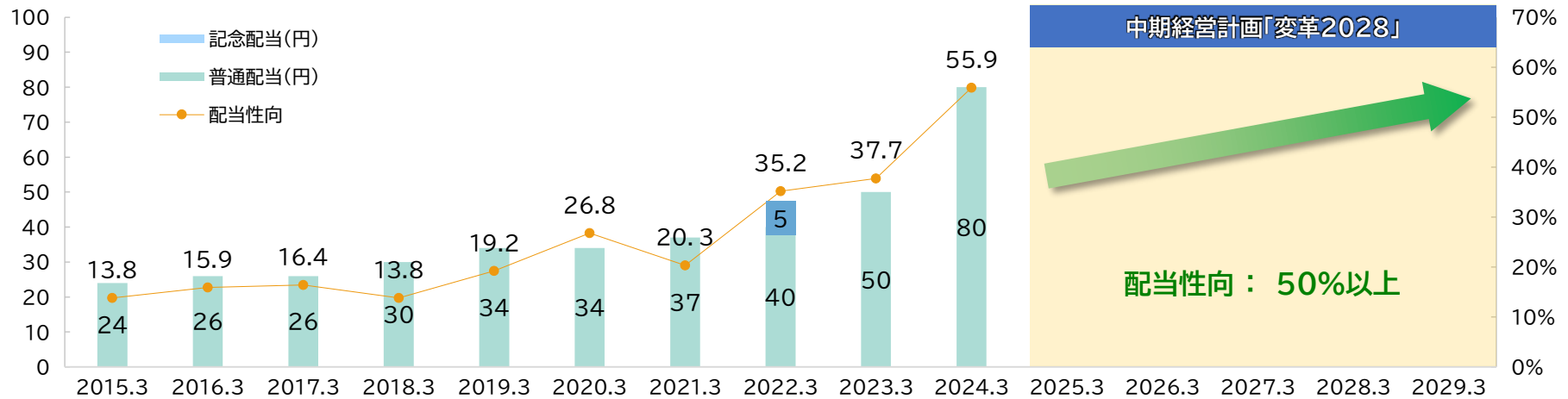
## ROEと株主資本コスト



# 株主還元の充実

## 配当性向と総還元性向

中期経営計画「変革2028」(以下、「変革2028」)では、株主の皆様への利益還元と企業価値の最大化を重視しております。その一環として、自己株式の取得を通じた資本構成の最適化を目指してまいります。



## 資本構成の最適化に向けた取り組み

### 「変革2028」の期間は、5年間で「約50億円以上の自己株式を取得」

当社は、「変革2028」の取り組みの一環として、各年の総還元性向100%以上を目標とし、5年間で約50億円以上の自己株式を取得することを予定しています。

これは、資本構成の最適化に向けた取り組みの一部です。「変革2028」の期間が終了した後も、資本効率の最適化を継続的に追求し、企業価値の向上を図るための戦略を持続的に実行してまいります。